

水産生物分布調査 (No.3 ハタハタに関する調査)

中 田 凱 久

青森県日本海のハタハタは沖合では底曳網、沿岸では刺網、小型定置網で漁獲されるが、沖合では索餌群、沿岸では産卵接岸群が対象となっている。

1977年以降の底曳網による深浦および鰺ヶ沢地区におけるハタハタ漁獲量は図1に示したとおりで、1992年は深浦地区で0.7トンと、ここ8年間では昨年に次ぐ低い漁獲量であった。鰺ヶ沢でも1.4トンと、ここ6年間の最低の漁獲量であった。時期的には例年同様11～12月(表1)だけで全漁獲量の70%以上を占めている。

一方沿岸での産卵接岸群は鰺ヶ沢で刺網が10隻程度操業し、12月18日～29日までの間に0.3トンの水揚げがあったが、県南部では水揚げが殆ど見られなかった。魚体は12月に体長14～21cm、モード16cmと例年よりやや小型であった。

なお、参考までに深浦町北金ヶ沢地区で小建網により漁獲した(1992年12月22日)ハタハタの体長組成を図2に示した。

沖合の底曳網による漁獲金額は深浦では122万円で昨年並であったが、鰺ヶ沢では504万円で昨年の1,139万円を635万円程下回った。kg当りの価格は深浦では平均1,731円、鰺ヶ沢では3,513円と例年同様深浦の価格が低かった。

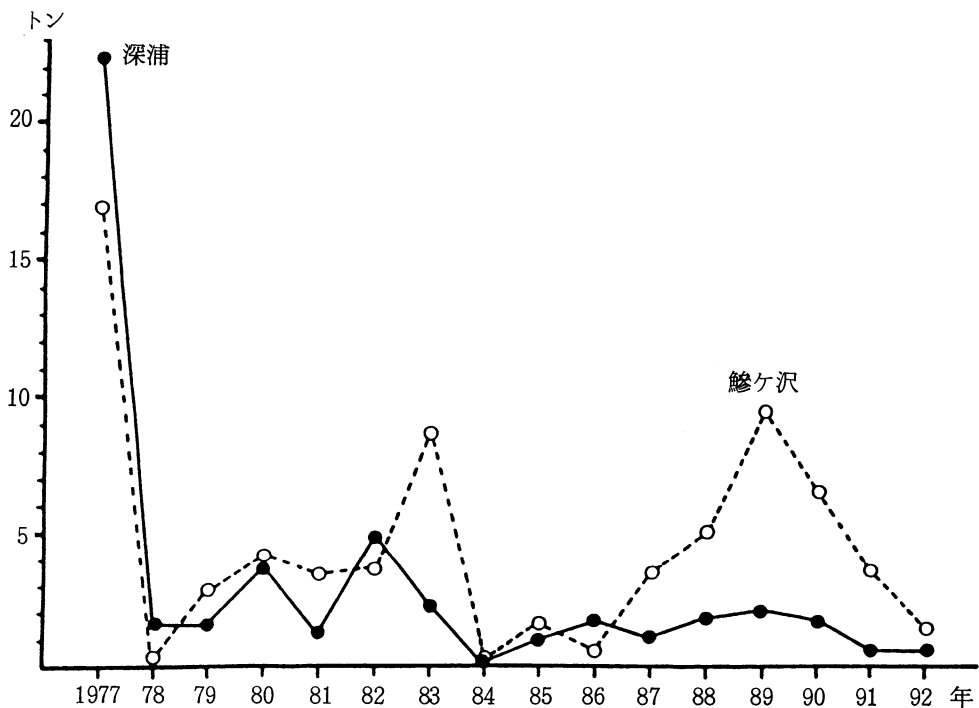


図1 底曳網(沖合)による地域別ハタハタ漁獲量

表1 底曳網による沖合のハタハタ年別、月別漁獲量

単位 : kg

	1	2	3	4	5	6	9	10	11	12	計
1979	164	37	149	31	236	29	13	3,201	243	216	4,317
80	152	0	0	108	0	106	0	236	5,346	1,895	7,843
81	0	62	0	0	5	106	80	0	1,945	2,386	4,584
82	895	0	2	74	445	395	0	596	4,307	1,699	8,413
83	586	297	285	333	394	0	8	1,821	4,780	2,257	10,760
84	42	1	0	18	2	5	1	27	74	119	289
85	1	0	2	2	56	520	4	53	5	1,995	2,638
86	49	106	0	3	185	765	22	197	572	402	2,301
87	49	2,084	3	363	284	86	4	3	1,010	720	4,605
88	17	234	633	69	277	729	20	2,027	2,058	722	6,786
89	54	3	220	471	600	92	16	780	2,969	6,258	11,462
90	33	72	6	408	371	376	1	543	920	5,513	8,244
91	430	130	1	60	175	38	39	105	292	2,910	4,180
92	14	0	5	37	502	7	0	8	141	1,428	2,142

(深浦・鯨ヶ沢港水揚げ量)

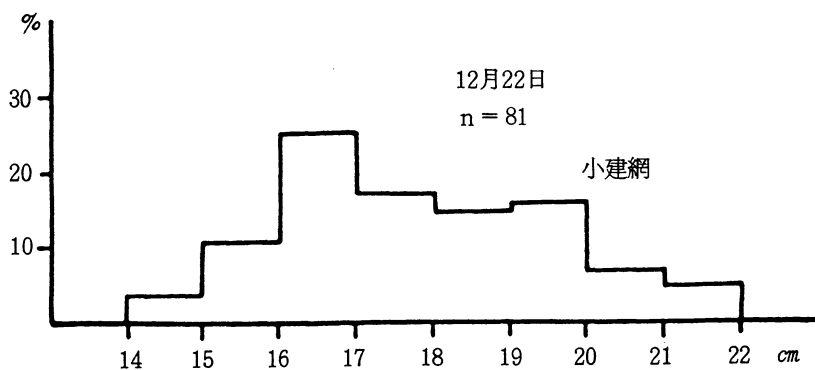


図2 深浦町北金ヶ沢地区のハタハタの体長組成